

東大阪市シェアサイクル実証実験事業 評価基準

※評価項目（小）ごとに1～5点の5段階で評価し、その評価点に評価荷重を乗じたものを評価項目（小）の得点とする。

No.	評価項目（大）	計	評価項目（小）	評価荷重	小計	評価の視点
1	基本方針	10	基本方針	× 2	10	本市の目的を理解し、事業全体の明確なグランドデザインを描いているか。 【市の課題解決に対する思い、取り組み方針など】
2	運営実績・体制	30	業務実績	× 2	10	シェアサイクル事業に関する実績や運営のノウハウを有しているか。 【他市での運営実績など】
3			運営体制	× 2	10	事業の運営は組織化され、適切な人員・責任者が配置されているか。 【運営体制、人員数など】
4			既存登録者	× 2	10	他都市等の登録者数の実績はあるか。近隣市との相互利用は可能か。 【既存登録者数、近隣市での登録状況、相互利用の可否など】
5	サービス内容	25	利用方法	× 2	10	登録・利用方法が容易か。自転車・ポートの空き情報を容易に確認できるか。 【登録項目、登録・利用方法、空き状況の確認手段、情報更新の頻度など】
6			利用料金、決済手段	× 2	10	利用しやすい料金設定となっているか。複数の決済手段を選択できるか。 【利用料金、割引制度、利用できる決済手段など】
7			多言語対応	× 1	5	日本語のほか、外国語に対応しているか。 【対応言語など】
8	設備・保守	35	自転車の仕様	× 1	5	景観に配慮したデザインか。幅広い年代の乗りやすさに配慮されているか。 【自転車の仕様、デザインなど】
9			ポートの仕様	× 2	10	ポートは周辺環境や安全に配慮されているか。容易に設置、撤去できるか。 【ポートの仕様、ポートの設置方法など】
10			メンテナンス	× 2	10	自転車とサイクルポートの点検・メンテナンスはどのように実施するか。 【点検・メンテナンス頻度など】
11			自転車の偏在、バッテリー切れ対策	× 2	10	ポート間での自転車の偏在や電動自転車のバッテリー切れの対策は行っているか。 【自転車の再配置の頻度、バッテリーの交換・充電の仕組みなど】
12	企画・提案	65	自転車・ポート台数、スケジュール	× 3	15	自転車・ポート台数は十分か。設置スケジュールはどう考えているか。 【自転車・ポート台数の想定、事前準備も含めた事業スケジュールなど】
13			民間ポートの展開	× 3	15	民間サイクルポート設置場所の展開方法はどうか考えているか。 【展開場所・方法、実現可能性の高さなど】
14			公共交通機能補完	× 3	15	公共交通の機能補完はできているか。 【公共交通機関の空白地帯へのポート設置、市内移動の利便性の向上など】
15			本市施策との連携	× 2	10	交通、観光、経済等本市の施策との連携が考えられているか。 【市外からの来訪者促進のための工夫など】
16			持続可能性	× 2	10	採算性が確保されているか。実証実験後の事業計画をどのように考えているか。 【採算性が見込まれる時期、実証実験後の展開など】
17	安全管理	20	緊急時の対応	× 2	10	事故・トラブルなど緊急時の対応窓口、体制及び問い合わせ方法はどうかになっているか。 【コールセンターの有無、対応時間など】
18			保険	× 2	10	加入する保険の補償範囲は十分か。 【補償内容（対人・対物・盗難・破損など）、補償金額、自己負担の程度など】
19	その他	15	広報	× 1	5	事業周知・広報は十分に行う計画となっているか。 【広報媒体、周知計画など】
20			提供可能データ	× 2	10	東大阪市に有用なデータを提供できるか。 【提供できるデータの種類、活用方法など】
	合計	200				